

プログラム

第1会場 (301) 8:25~8:30

開会の辞

【代表世話人】工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科学)

【当番世話人】田中 克明 (横浜市立大学附属市民総合医療センター、秦野赤十字病院)

第1会場 (301) 8:30~9:10

特別企画 1

長期生存を目指した集学的治療

【司 会】飯島 尋子 (兵庫医科大学 内科肝胆膵科、超音波センター)

【コメンテーター】池田 健次 (虎の門病院 消化器科)

【共 催】エーザイ株式会社

- SP-1 TACE 不応の考察：TACE 前腫瘍個数 8 個以上は、TACE 効果不良予測因子である
¹大阪国際がんセンター 肝胆膵内科、²大阪国際がんセンター 消化器外科、
³大阪国際がんセンター 放射線診断科・IVR 科
○片山 和宏¹、今井 俊裕¹、日下部 瑛¹、阿部 友太郎¹、名和 誉敏¹、榊原 充¹、和田 浩志²、
前田 登³、中西 克之³、大川 和良¹
- SP-2 進行肝がんにおけるソラフェニブ治療後生存期間の意義～Kanagawa Liver Study Group による多施設検討～
¹神奈川県立がんセンター 消化器内科・肝胆膵、
²横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター、³北里大学医学部附属病院 消化器内科、
⁴聖マリアンナ医科大学附属病院 消化器・肝臓内科
○小林 智¹、森本 学¹、上野 誠¹、大川 伸一¹、沼田 和司²、中馬 誠²、田中 克明²、
日高 央³、高田 樹一³、渋谷 明隆³、奥瀬 千晃⁴、松永 光太郎⁴、池田 裕喜⁴、松本 伸行⁴、
鈴木 通博⁴
- SP-3 Vp3/4 のソラフェニブ投与例の予後に関する因子はなにか？—多施設共同研究—
¹大垣市民病院 消化器内科、²愛媛県立中央病院 消化器病センター、³愛媛大学 第三内科、
⁴松山赤十字 消化器内科、⁵おおたかの森病院 消化器内科、⁶香川労災病院 消化器内科、
⁷富山大学 消化器内科、⁸済生会新潟第二病院 消化器内科、⁹手稲溪仁会病院 消化器病センター
○多田 俊史¹、熊田 卓¹、豊田 秀徳¹、平岡 淳²、小泉 洋平³、広岡 昌史³、日浅 陽一³、
越智 裕紀⁴、上甲 康二⁴、島田 紀朋⁵、出口 章広⁶、田尻 和人⁷、石川 達⁸、今井 径卓⁸、
辻 邦彦⁹
- SP-4 C 型肝炎根治治療後の DAAs 治療の有無による肝予備能の推移と再発に関する検討
金沢大学附属病院消化器内科
○高田 昇、山下 竜也、堀井 里和、寺島 健志、北原 征明、荒井 邦明、金子 周一

第1会場 (301) 9:10~9:40

プレナリーセッション1

新たな診断・治療の最前線

【司 会】大崎 往夫 (大阪赤十字病院 消化器科)

【コメンテーター】金子 周一 (金沢大学大学院医学系研究科 恒常性制御学)

- PL-1 進行肝癌に対するソラフェニブ治療における体組成と栄養状態のインパクト
¹ 山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学、² 山口大学大学院医学系研究科 臨床検査腫瘍学
○佐伯 一成¹、前田 雅喜¹、高見 太郎¹、山崎 隆弘²、坂井田 功¹
- PL-2 当院にて Lenvatinib 臨床第2相試験に参加した肝細胞癌患者5例の5年間以上の長期フォローの報告
大阪赤十字病院 消化器内科
○西島 規浩、坂本 梓、齋藤 澄夫、那須 章洋、米門 秀行、喜多 竜一、木村 達、大崎 往夫
- PL-3 HCV ジェノタイプ1または2に感染した日本人 DAA 既治療患者に対する SOF/VEL+RBV の12週または24週治療の有用性の検討
¹Japanese Red Cross Musashino Hospital, Tokyo, Japan、²Gilead Sciences, Inc, Foster City, CA, United States、³Osaka University Hospital, Osaka, Japan、⁴Hiroshima University Hospital, Hiroshima, Japan、⁵Nagasaki Medical Center, Nagasaki, Japan、⁶Kagawa Prefectural Central Hospital, Takamatsu, Japan、⁷Kurume University Hospital, Kurume-shi, Japan、⁸Yamagata University Hospital, Yamagata, Japan、⁹Ogaki Municipal Hospital, Ogaki City, Japan、¹⁰Gunma University Hospital, Gunma, Japan、¹¹Nagoya City University Hospital, Nagoya, Japan、¹²Hyogo College of Medicine Hospital, Hyogo, Japan、¹³Okayama University Hospital, Okayama, Japan、¹⁴Saitama Medical University Hospital, Iruma-gun, Japan、¹⁵National Center for Global Health and Medicine, Ichikawa-shi, Japan
○Namiki Izumi¹、Tetsuo Takehara³、Kazuaki Chayama⁴、Hiroshi Yatsuhashi⁵、Koichi Takaguchi⁶、Tatsuya Ide⁷、Masayuki Kurosaki¹、Yoshiyuki Ueno⁸、Hidenori Toyoda⁹、Deyuan Jiang²、Shampa De-Oertel²、Brian L. McNabb²、Gregory Camus²、Luisa Stamm²、Diana M. Brainard²、John G. McHutchison²、Satoru Kakizaki¹⁰、Yoshiiku Kawakami⁴、Yasuhito Tanaka¹¹、Hirayuki Enomoto¹²、Fusao Ikeda¹³、Satoshi Mochida¹⁴、Masashi Mizokami¹⁵

第1会場 (301) 9:40~10:20

プレナリーセッション2

新たな分子標的研究の最前線

【司 会】茶山 一彰 (広島大学大学院医歯薬学研究部 応用生命科学部門 消化器・代謝内科学)

【コメンテーター】坂元 亨宇 (慶應義塾大学医学部 病理学)

- PL-4 Sorafenib による NKG2D リガンド ULBP-1 発現への影響
¹ 東邦大学薬学部病態生化学研究室、² 東邦大学医療センター大森病院消化器内科
○小林 康次郎^{1,2}、白石 凌¹、桧貝 孝慈¹、和久井 紀貴²、永井 英成²
- PL-5 肝星細胞は IL-6 を介して肝癌細胞増強・転移促進に寄与する
徳島大学 外科学
○岩橋 衆一、島田 光生、居村 暁、森根 裕二、池本 哲也、齋藤 裕、寺奥 大貴
- PL-6 TCGA データを用いた C 型肝細胞癌治療標的の網羅的探索
東京大学医学部附属病院消化器内科
○浅岡 良成、建石 良介、小池 和彦

- PL-7 レンバチニブのヒト肝癌細胞株に対する増殖抑制効果の基礎的検討
久留米大学医学部病理学講座
○小笠原 幸子、矢野 博久

第1会場 (301) 10:35~11:05

特別企画2

肝がん診療におけるバイオマーカーの役割

【司 会】 國土 典宏 (国立国際医療研究センター)

【コメンテーター】 市田 隆文 (湘南東部総合病院)

【共 催】 シスメックス株式会社

- SP-5 肝細胞癌早期診断マーカーとしての ADAMTS 13 および Von Willebrand 因子の有用性
奈良県立医科大学消化器内分泌代謝内科
○高谷 広章、浪崎 正、北出 光輝、中西 啓祐、鍛冶 孝祐、下里 直隆、才川 宗一郎、
佐藤 慎哉、辻 裕樹、澤田 保彦、守屋 圭、吉治 仁志
- SP-6 非代償性肝硬変における M2BPGi 値の変化
北里大学医学部消化器内科学
○魚嶋 晴紀、日高 央、田中 賢明、窪田 幸助、和田 尚久、渋谷 隆明、小泉 和二郎
- SP-7 肝癌合併を含む肝疾患の各種病態における M2BPGi 値の検討
¹横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター、²横浜市立大学 消化器内科、
³秦野赤十字病院 消化器内科
○中馬 誠¹、野崎 昭人¹、原 浩二¹、西郡 修平¹、守屋 聡¹、近藤 正晃²、福田 浩之¹、
沼田 和司¹、前田 慎²、田中 克明^{1,3}

第1会場 (301) 11:05~11:55

特別講演

【司 会】 工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科学)

- 特別講演 肝細胞がんに対する新たな分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害剤の開発の最前線
国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科
○池田 公史

第1会場 (301) 12:10~13:00

ランチョンセミナー

【司 会】 熊田 卓 (大垣市民病院 消化器科)

【共 催】 アッヴィ合同会社

- LS ウイルス肝炎から肝がんへ～最新の治療と将来の展望～
千葉大学大学院医学研究院消化器内科学
○加藤 直也

第1会場 (301) 13:10~14:50

シンポジウム

レゴラフェニブ登場によるパラダイムシフト

【司 会】 山下 竜也 (金沢大学 消化器内科)
相方 浩 (広島大学病院 消化器・代謝内科)
【共 催】 バイエル薬品株式会社

- SY-1 肝がんに対するレゴラフェニブのエビデンスレビュー
神奈川県立がんセンター消化器内科肝胆膵
○森本 学、上野 誠、小林 智
- SY-2 Regorafenib～初期使用経験と課題
京都府立医科大学消化器内科
○森口 理久
- SY-3 進行肝細胞癌に対するソラフェニブ画像的 PD 判定時の現状および PD 後予後—レゴラフェニブへの切り替え推奨条件を満たしていない群に着目して—
名古屋大学消化器内科
○葛谷 貞二、石上 雅敏、武藤 久哲、横山 晋也、田中 卓、山本 健太、安藤 祐資、伊藤 隆徳、安田 諭、石津 洋二、本多 隆、林 和彦、石川 哲也、廣岡 芳樹、後藤 秀実
- SY-4 進行肝細胞癌におけるレゴラフェニブ治療の初期経験
武蔵野赤十字病院 消化器科
○土谷 薫、王 婉、高田 ひとみ、安井 豊、黒崎 雅之、泉 並木
- SY-5 肝細胞癌に対する分子標的治療の今後の展望
近畿大学医学部消化器内科
○上嶋 一臣

第1会場 (301) 16:30~17:00

コメディカル合同セミナー

【司 会】 古瀬 純司 (杏林大学医学部内科学腫瘍内科)
【共 催】 バイエル薬品株式会社

- SP-8 ソラフェニブ治療を受けている肝がん患者の自己効力感、健康関連 Quality of life、身体活動及び BMI の縦断的变化
¹ 東海大学健康科学部看護学科、² 東海大学医学部消化器内科学
○庄村 雅子¹、加川 建弘²、白石 光一²、広瀬 俊治²、荒瀬 吉孝²、鶴谷 康太²、安斎 和也²、岡部 春香¹、峯 徹哉²
- SP-9 ソラフェニブ・レゴラフェニブ シーケンシャル治療における副作用対策チームの取り組み
神奈川県立がんセンター
○福島 泰斗、森本 学、小林 智、上野 誠、戸塚 雄一郎、佐野 裕亮、大川 伸一、酒井 リカ、山本 晃三、関 宣明、河野 ひろみ、大滝 由美、京谷 光崇、岸本 有佳

SP-10 チームレゴラフェニブにおける薬剤師の役割

¹ 国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 薬剤部、² 国立国際医療研究センター病院 薬剤部、
³ 国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科

○天川 佳洋¹、船崎 秀樹²、篠原 旭¹、竹野 美沙樹¹、木村 元³、梅本 久美子³、渡邊 一雄³、
佐々木 満仁³、高橋 秀明³、橋本 裕輔³、今岡 大³、大野 泉³、光永 修一³、山口 正和¹、
池田 公史³

第1会場 (301) 17:00~17:50

イブニングセミナー

肝がん治療における抗ウイルス療法の課題

【司 会】泉 並木 (武蔵野赤十字病院 消化器科)
【共 催】ギリアド・サイエンシズ株式会社

ES-1 肝癌治療後のDAA導入、ウイルス学的著効後の発癌に関する最新の話

虎の門病院肝臓内科

○小林 正宏

第1会場 (301) 17:50~17:55

閉会の辞

【当番世話人】田中 克明 (横浜市立大学附属市民総合医療センター、秦野赤十字病院)
【次回当番世話人】小池 和彦 (東京大学医学部 消化器内科)

第2会場 (302 ブースA) 15:00~15:50

★は優秀ポスター

ポスターセッション 1-1

レゴラフェニブの初期使用経験

【司 会】森本 学 (神奈川県立がんセンター 消化器内科)
【コメンテーター】能祖 一裕 (岡山市立市民病院 消化器内科)

★P1-1 切除不能肝細胞癌に対するソラフェニブ加療例における2nd line治療としてのレゴラフェニブ切り替えの可否について

¹ 愛媛県立中央病院消化器病センター・内科、² 愛媛県立中央病院消化器病センター・外科、
³ 愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学

○奥平 知成¹、平岡 淳¹、河崎 秀樹²、二宮 朋之¹、廣岡 昌史³、日浅 陽一³、道堯 浩二郎¹

★P1-2 造影超音波検査によるソラフェニブ早期治療効果判定とレゴラフェニブ移行へのタイミング

¹ 兵庫医科大学 超音波センター、² 兵庫医科大学 内科・肝胆膵科、³ 公立八鹿病院 内科

○西村 貴士^{1,2}、柴田 陽子¹、青木 智子^{1,2,3}、中野 智景^{1,2}、長谷川 国大²、高田 亮²、
楊 和典²、石井 昭生²、高嶋 智之²、坂井 良行²、會澤 信弘²、池田 直人²、西川 浩樹²、
岩田 恵典²、榎本 平之²、西口 修平²、飯島 尋子^{1,2}

P1-3 ソラフェニブ投与例におけるレゴラフェニブ適格例の検討

大阪赤十字病院 消化器内科

○西島 規浩、坂本 梓、斎藤 澄夫、那須 章洋、米門 秀行、喜多 竜一、木村 達、大崎 往夫

P1-4 進行肝細胞癌に対するソラフェニブ治療後のセカンドラインにおいて、レゴラフェニブ治療が適格・不適格となる要件
久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門
○中野 聖士、黒松 亮子、佐谷 学、新関 敬、相野 一、岡村 修祐、岩本 英希、下瀬 茂男、城野 智毅、野田 悠、古賀 浩徳、鳥村 拓司

★P1-5 当科における進行肝細胞癌に対するレゴラフェニブの初期使用経験—実臨床における課題は？
¹千葉大学大学院医学研究院消化器内科学、² 日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野
○小笠原 定久¹、千葉 哲博¹、大岡 美彦¹、鈴木 英一郎¹、前田 隆弘¹、横山 昌幸¹、小林 和史¹、清野 宗一郎¹、中村 昌人¹、齋藤 朋子¹、中本 晋吾¹、安井 伸¹、太和田 暁之¹、新井 誠人¹、神田 達郎^{1,2}、丸山 紀史¹、加藤 直也¹

P1-6 進行肝癌に対するレゴラフェニブの初期使用経験～開始用量と治療効果・有害事象との関連性について～
武蔵野赤十字病院
○王 婉、土谷 薫、安井 豊、高田 ひとみ、渡壁 慶也、岡田 真央、久保田 洋平、小宮山 泰之、樋口 麻友、高浦 健太、玉城 信治、中西 裕之、板倉 潤、高橋 有香、黒崎 雅之、泉 並木

P1-7 レゴラフェニブ開始量 80 mg の試み
大阪市立大学 肝胆膵病態内科学
○萩原 淳司、元山 宏之、打田 佐和子、河田 則文

第 2 会場 (302 ブース A) 15:50～16:25

ポスターセッション 1-2

レゴラフェニブの初期使用経験

【司 会】上嶋 一臣 (近畿大学医学部 消化器内科学)

【コメンテーター】島田 光生 (徳島大学大学院 医歯薬学研究所 消化器・移植外科学)

P1-8 肝細胞癌と結腸・直腸癌に対するレゴラフェニブの初期有害事象の検討
¹金沢大学附属病院 消化器内科、² 金沢大学附属病院 胃腸外科
○寺島 健志¹、山下 竜也¹、高田 昇¹、堀井 理和¹、荒井 邦明¹、中村 慶史²、金子 周一¹

P1-9 レゴラフェニブの初期使用経験
広島大学病院 消化器・代謝内科
○河岡 友和、相方 浩、内川 慎介、児玉 健一郎、鳩岡 正浩、中原 隆志、村上 栄介、柘植 雅貴、平松 憲、今村 道雄、川上 由育、茶山 一彰

P1-10 進行肝細胞癌に対する regorafenib の初期使用経験
¹川崎医科大学附属病院 肝胆膵内科学、² 福山市民病院 内科
○佐々木 恭¹、富山 恭行¹、仁科 惣治¹、吉岡 奈穂子¹、原 裕一¹、日野 啓輔¹、桑木 健志²、實藤 宏美²、藪下 和久²、坂口 孝作²

P1-11 当院におけるレゴラフェニブの初期使用経験
¹横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター、² 横浜市立大学 消化器内科
○守屋 聡¹、沼田 和司¹、福田 浩之¹、中馬 誠¹、原 浩二¹、西郡 修平¹、前田 慎²、田中 克明¹

P1-12 進行肝細胞癌に対するレゴラフェニブ治療の初期経験

富山大学附属病院第三内科

○田尻 和人、二日市 有花、小林 才人、安村 敏、高原 照美、峯村 正実、杉山 敏郎

第2会場 (302 ブース B) 15:00~15:50

ポスターセッション 2-1

長期生存を目指した分子標的治療ほか

【司 会】坂本 直哉 (北海道大学大学院医学研究院 内科学分野消化器内科学教室)

【コメンテーター】日野 啓輔 (川崎医科大学 肝胆膵内科学)

P2-1 Intermediate stage 肝癌における TACE 治療効果予測: Time to TACE progression (TTTP)

¹愛媛県立中央病院 消化器病センター内科、²愛媛大学大学院 消化器・代謝・内分泌内科学

○平岡 淳¹、泉本 裕文¹、植木 秀太郎¹、北畑 翔吾¹、奥平 知成¹、相引 利彦¹、宮本 勇治¹、山子 泰加¹、富田 英臣¹、森 健一郎¹、宮田 英樹¹、壺内 英治¹、二宮 朋之¹、広岡 昌史²、日浅 陽一²、道堯 浩二郎¹

P2-2 進行肝細胞癌に対するソラフェニブ治療不応例の検討

北海道大学 消化器内科

○中村 晃久、小川 浩司、鈴木 和治、大原 正嗣、川岸 直樹、出水 孝章、中井 正人、荘 拓也、須田 剛生、森川 賢一、坂本 直哉

P2-3 進行肝細胞癌におけるソラフェニブ治療の長期生存症例と短期終了症例のそれぞれの特徴

¹岡山大学病院 消化器内科、²岡山市民病院 内科、³香川県立中央病院、⁴広島市民病院、⁵倉敷中央病院、⁶住友別子病院

○足立 卓哉¹、能祖 一裕²、大山 淳史¹、和田 望¹、安中 幸¹、竹内 康人¹、安中 哲也¹、大西 秀樹¹、池田 房雄¹、白羽 英則¹、高木 章乃夫¹、高口 浩一³、植松 周二⁴、高畠 弘行⁵、萩原 宏明⁶、岡田 裕之¹

P2-4 進行肝細胞癌に対する Sorafenib 療法: 予後不良因子の検討

愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学

○小泉 洋平、廣岡 昌史、今井 祐輔、中村 由子、行本 敦、石原 暢、渡辺 崇夫、吉田 理、阿部 雅則、日浅 陽一

P2-5 進行肝がんにおけるソラフェニブ PD 後の後治療・追加治療の意義

¹横浜市立大学附属病院、²横浜市立大学附属市民総合医療センター、³秦野赤十字病院

○近藤 正晃^{1,2}、沼田 和司²、神野 正智²、西郡 修平²、原 浩二²、野崎 昭人²、福田 浩之²、中馬 誠²、前田 慎¹、田中 克明^{2,3}

P2-6 肝細胞癌術後再発転移に対する sorafenib 治療例における長期生存例の検討

関西医科大学 外科

○石崎 守彦、海堀 昌樹、松井 康輔、中竹 利知、松島 英之、坂口 達馬、権 雅憲

P2-7 進行肝細胞癌に対しソラフェニブを導入し3年以上の長期生存した症例の特徴

¹北里大学 消化器内科学、²伊勢原協同病院 消化器内科、³北里大学メディカルセンター 消化器内科

○田中 賢明¹、中澤 貴秀¹、山根 敬子¹、和田 尚久¹、井上 智仁¹、窪田 幸介¹、魚嶋 晴紀¹、小野 弘二²、渡邊 真彰³、日高 央¹、渋谷 明隆¹、小泉 和三四郎¹

ポスターセッション2-2

長期生存を目指した分子標的治療ほか

【司 会】名越 澄子 (埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科)

【コメンテーター】浅岡 良成 (東京大学医学部 消化器内科)

- P2-8 ソラフェニブ治療効果を最大限に有効化するための併用療法の試み
富山大学附属病院第三内科
○田尻 和人、二日市 有花、小林 才人、安村 敏、高原 照美、峯村 正実、杉山 敏郎
- P2-9 ソラフェニブ血中濃度と病因からみたソラフェニブと肝動注化学療法交互治療の有用性
¹ 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科、² 東邦大学 薬学部 臨床薬学、
³ 東邦大学 薬学部 病態生化学
○永井 英成¹、松井 太吾¹、向津 隆規¹、小林 康次郎¹、天沼 誠¹、吉峰 尚幸¹、荻野 悠¹、
松清 靖¹、和久井 紀貴¹、篠原 美絵¹、池原 孝¹、粉山 浩一¹、五十嵐 良典¹、松尾 和夫²、
楢貝 孝慈³
- P2-10 進行肝細胞癌に対するソラフェニブ治療における HMB 含有栄養補助食品の手足症候群予防効果
¹ 国立病院機構 高崎総合医療センター 消化器内科、² 群馬県済生会前橋病院 消化器内科、
³ 群馬大学大学院 医学系研究科 内科学講座 消化器・肝臓内科学分野、
⁴ 医療法人社団 三思会 くすの木病院 消化器・肝臓内科
○長沼 篤¹、星野 崇¹、堀口 英¹、村上 立真¹、畑中 健²、植原 大介³、佐藤 賢³、柿崎 暁³、
高木 均⁴
- P2-11 Intermediate 肝臓に対するソラフェニブの当院における使用状況
¹ 広島赤十字・原爆病院、² 広島大学病院 消化器・代謝内科
○高木 慎太郎¹、本田 洋士¹、森 奈美¹、辻 恵二¹、河岡 友和²、相方 浩²、茶山 一彰²
- P2-12 当科における肝細胞癌に対するソラフェニブの効果と予後の検討
山形大学医学部内科学第二講座
○仁科 武人、奥本 和夫、水野 恵、富田 恭子、芳賀 弘明、上野 義之
- P2-13 Sorafenib 治療における sarcopenia 合併の意義
旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野
○澤田 康司、林 秀美、長谷部 拓夢、中嶋 駿介、藤谷 幹浩、奥村 利勝
- P2-14 肝臓における緩和ケアの現状
湘南東部総合病院 肝臓病センター・緩和ケア内科
○平野 克治

症例報告 1

レゴラフェニブ奏功例、有害事象と対策

【司 会】日高 央 (北里大学医学部 消化器内科)

【コメンテーター】黒崎 雅之 (武蔵野赤十字病院 消化器科)

レゴラフェニブ奏功例

- C-1 Sorafenib、regorafenib にて良好な治療効果を得られた一例
大阪国際がんセンター 肝胆膵内科
○今井 俊裕、大川 和良、日下部 瑛、阿部 友太郎、名和 誉敏、榊原 充、片山 和宏
- C-2 レゴラフェニブにより奏効が得られた進行肝細胞癌の1例
国立病院機構九州医療センター 肝胆膵外科・臨床研究センター
○和田 幸之、高見 裕子、立石 昌樹、松島 肇、吉富 宗宏、才津 秀樹
- C-3 Regorafenib 投与にて局所奏効が得られ、同部位に対し、画像変化を短期に追うことが出来た cStage IVB 肝細胞癌の1例
岩手医科大学 消化器内科肝臓分野
○及川 隆喜、佐藤 琢郎、藤原 裕大、佐藤 寛毅、阿部 珠美、遠藤 啓、吉田 雄一、佐原 圭、黒田 英克、滝川 康裕
- C-4 ソラフェニブから円滑にレゴラフェニブに移行し奏功した肝細胞癌の1例
埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科
○須田 健太郎、青山 徹、山口 菜緒美、名越 澄子、屋嘉比 康治
- C-5 レゴラフェニブが奏功した肝細胞癌症例
岡山市立市民病院 消化器内科・肝疾患センター
○古林 佳恵、塩田 祥平、湧田 暁子、狩山 和也、能祖 一裕
- C-6 ソラフェニブからレゴラフェニブへの変更により病勢コントロールを得ている切除後再発肝細胞癌の1例
順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科
○甘楽 裕徳、玄田 拓哉、天野 希、佐藤 祥、村田 礼人、富嶋 享、佐藤 俊輔、嶋田 裕慈、飯島 克順、永原 章仁

レゴラフェニブの有害事象と対策

- C-7 Regorafenib 投与 1 週後に著明な腫瘍内血流低下を呈した進行肝細胞癌の1例
東京医科大学 消化器内科
○阿部 正和、杉本 勝俊、吉益 悠、竹内 啓人、笠井 美孝、古市 好宏、糸井 隆夫
- C-8 レゴラフェニブにて急激な肝機能増悪を認めた肝細胞癌の1例
大阪赤十字病院 消化器内科
○喜多 竜一、中西 梨沙、網野 遥、坂本 梓、西島 規浩、斎藤 澄夫、那須 章洋、米門 秀行、木村 達、大崎 往夫

症例報告2

興味ある症例

【司 会】奥坂 拓志 (国立がん研究センター中央病院 肝胆臓内科)

【コメンテーター】廣岡 昌史 (愛媛大学 消化器・内分泌・代謝内科)

C-9 ソラフェニブによる治療中、間質性肺炎を生じた慢性腎不全合併肝細胞癌の1例

¹ 国立病院機構 高崎総合医療センター 消化器内科、

² 群馬大学大学院 医学系研究科 内科学講座 消化器・肝臓内科学分野、

³ 国立病院機構 高崎総合医療センター 呼吸器内科

○村上 立真¹、長沼 篤¹、植原 大介^{1,2}、堀口 英¹、星野 崇¹、鈴木 雅文³、佐藤 賢²、柿崎 暁²

C-10 ソラフェニブ継続下の他治療併用により病状安定を得ている4症例

聖マリアンナ医科大学 消化器・肝臓内科

○松永 光太郎、重福 隆太、服部 伸洋、池田 裕喜、渡邊 綱正、松本 伸行、伊東 文生

C-11 Sorafenib 投与中に急速に増大した進行肝細胞癌に対して肝動脈化学塞栓術を施行後に sorafenib 再投与にて腫瘍縮小が得られた一例

¹ 千葉大学大学院医学研究院消化器内科学、² 日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野

○横山 雄也¹、小笠原 定久¹、大岡 美彦¹、前田 隆弘¹、横山 昌幸¹、小林 和史¹、清野 宗一郎¹、中村 昌人¹、齊藤 朋子¹、鈴木 英一郎¹、中本 晋吾¹、安井 伸¹、太和田 暁之¹、千葉 哲博¹、新井 誠人¹、神田 達郎^{1,2}、丸山 紀史¹、加藤 直也¹

C-12 3年半ぶりのソラフェニブ増量にてCRが得られた進行HCCの1例

名古屋大学消化器内科

○武藤 久哲、葛谷 貞二、横山 晋也、田中 卓、山本 健太、安藤 祐資、伊藤 隆徳、安田 諭、石津 洋二、本多 隆、林 和彦、石上 雅敏、石川 哲也、廣岡 芳樹、後藤 秀実

C-13 再発混合型肝癌に対するソラフェニブ長期投与が著効した一例

富山大学附属病院 第三内科

○二日市 有花、田尻 和人、小林 才人、安村 敏、高原 照美、峯村 正美、杉山 敏郎